答辯をなしたのみで會見州分は單に聞き置く程度の儀禮的

明した、これに對し廣田外相と述べて南京政府の見解を説

通」ジャーナル・オブ・コマ 会と題し次の如く論じてある 空爆により民衆に奢怖心を 要へるのは近代職術として 要へるのは近代職術として

を ・ 英國政府の ・ 本・英國政府の ・ 大英國の要求の第一、 ・ 大英國の要求の第一、 ・ 大英國の要求の第一、 ・ 大英國の要求の第一、 ・ 大英國政府の 対日 消撃の ・ 大英國政府の 対日 消撃の ・ 大英國政府の 対日 消撃の

・オブ・コマ

々上て論ず

(東京國通) 駐日支那大使許外相を訪問

在別國大公使にE

9

却

月 九 量 料廣定本 金告價紙 新 特養郵一 刷解行

鑑

吐

山寸 局

企滿各省次長會議

折から交融 も一段の京浦州國政府 場関なる京浦州國政府 1全浦省長會議を 至 各省次長會議を開催、國務西 と ぼす影響大なるに鑑み政府で に全端各省次長を新京に招致 来る九月四、五剛日午前九時 水の九月四、五剛日午前九時 水の大原の大原の治安情勢に及

神 そのらち凡そ学額は既に支持を総裁と共に財政益を合領を 総裁と共に財政益を合道を告 が の支持を機械して行けるか否 かは頗る疑問親されてゐる が、今後事變の

要打合せをなすことになった 方機鍋との時局對策につき重 方機鍋との時局對策につき重

五兩日國務院で

が潜 か

本 日御來店

てしさ塲交社御......秋の躍活御樣皆

-サの群女美るた々堂 | 現出の塩樂歌新る跨に都帝 へ都帝スミヒゼは覺感の秋!ひ装の華豪爛綸

中にあ 頭朱徳及び毛澤東に對し平津地方奪還總指揮を命じた 残り八名は廣東に習どまることになった、 ヴ 5 I 支不可侵條約の背後に軍事秘密協定の存在が傳へられてゐる 又ソ聯飛行士十六名は卅日廣東に到着、うち四飛行機七十二臺は最近外蒙を經て陝西に到着、 一蒙を經由飛行機、 對支軍事援 更に南京政府軍事委員會はこのほど支那和軍の 容共政策愈 うち四名づゝが東江及び汕頭に配置さうち四名づゝが東江及び汕頭に配置さの権力九日西安發某方面に達したる情報によれば

上配備

の支那財政

且

《那軍退却に際り

八達嶺トン

ンネ

閉鎖

~吉村部隊の一

巨れ途

費の増大と國庫收入の激滅に て取政へず八月分三萬二千ポンド(約五十七萬元)の支排 を履行することに決定、これ が手続きを了した、確開する に南京政府は事變勃發以來軍

の猛攻撃に

でのかね支那軍は んとしたが最も執拗なあくど 一般関連 かが軍 破壊、わが軍の追撃を阻止せ

ネル的には山岳用のマネルの閉鎖であつた。

破壞橫 レ同ト

【東京國 - 】外務聯合(一日) 外務事務官 審議 簡男 任大使館三等書記官

外務解令

古村部隊の手で復舊作業進む

南京政府の容共政策が具體化 口支那大使外

非戰鬪員論 青して来たに過ぎない ので許大使をしてわが方 ・日本側が南京に駐在し

料を與へた、人道および文學し日本側に格好な反對材量、非醍醐員の區別なく攻員、非醍醐員の區別なく攻高和界や公海において鬱闘同和界や公海において鬱闘にないて鬱闘が、不幸にも支那は共変ねるのは監然躊躇するで

香港の邦 入れられさらにもない が考慮されることは明かだ が、エチオピア、スペイッ が、エチオピア、スペイッ が、エチオピア、スペイッ が、エチオピア、スペイッ が、エチオピア、スペイッ

常局の集結要求に對し邦人側 では一日午後六時から興事會 を開き對策協議の結果左の如 く決定した

に決定した

國赤輝隊

A

を記

本部に掲げる大日章族には数がぶら下げてあるといふ風流がぶら下げてあるといふ風流がから下げてあるといふ風流がががら下げてあるといふ風流ががら下げてあるといふ風流が、青夜八字橋戦、十七日沙經港へ中がて来る激戦、十七日沙經港の一日は未だ記してゐないが、やがて来る激戦、十七日沙經港の一日は未だ記してゐないが、やがて来る激戦に備へて近く布一杯にするのだと名村赤輝

人の引揚げには現在の

現在のアジア艦隊をもつて充分と認めこの際本國艦隊から增派を行はぬこと作戦部長と極東の情勢につき協議をとげたが、軍艦增派に關しては在支米國

に招致し協議の結果軍艦の極東增減は現在のところその必要を認めずとの結論に達し左の如く弱表した府は上海における事態に艦み米國軍艦の増減を考慮中であると傳へられたが、大統領は一日午前海軍作品

大統領と

IJ

提督協議

誠一郎氏

發 H

0

寫眞說明

日發國通

香港政應 5

所に集結避難

長リー提督をハイド

パーター日發陽通り

双国通1米國政治

ル大統領はリー

でに千歳旅館と日本小學校 の二ヶ所に集結すること の二ヶ所に集結すること 時まで動めその後は避難場 時まで動めその後は避難場

あげた、なほ臭滋須攻略に排かのた犠牲は死傷百四十八名、かの損害に至つては遺棄された死體のみにても数百に達し 質山縣を占領 と 本海一日愛園通 3 卅一日 男 後を待つて夜襲職に入り随所 に自兵器を演じつ、一日柳来 明敵の重要地略であつた費山 がある重要地略であった費山 第一回上解事變當時の陰骸一般線を守備する名村部隊長

飲々長とし 變に出動、

通日の響酸に向ふ | は陰長以下武装の下にしつか | 赤緬縣 | と名付け駿廟中の豚あるが、今回の事 | してゐるが、愉快なのは同膝 | ことで、豚長自ら「單身報國で敷々の武勳を樹 | ところ酸なき勇猛振りを禮揮 | りと六尺の赤郷を締めてゐる

男猛名村部隊の旗じる

国 正 時 賃 金 償 湿 国 に 野する 園 証 時 賃 金 償 湿 で ま りかねてより 間 面 的 捜 大 に よりかねてより 間 で な た 支 が の わ が 國 で か し か な て か か な て よ り 間 に 時 賃 金 償 湿 こ

一上海二日

國通

b3

爆弾を投下

し甚大な損害を與へ無事歸還

te

ある南停車塩を再び空

南京政府部

一派對 對日意見でこさ

日抗戦についての意見 、中堅將被等の主職派 一、現在でも日本の用濫さへ さんとする安協派 さんとする安協派 でも日本の用濫さへ いての意見は現在

つて事ら與論の統一に努め重 に意見の確執を来してゐる、 るべき事を主張する自電派

英國驅逐艦

天津の秋空にあがる脚 は、速かに家にかへりま

業につ

0

日

ナッカントニュー 一元順ンは 襲撃さる

の潜水総より襲撃された トニオ岬沖合で突加國権 トニオ岬沖合で突加國権 ひとつ南京の空あたりにも速かに反省しろと、痕迹させ

二百十二百十 要人しきりに満洲圏に來る 黄ふこ

2 3

前マネキ都帝路發新京新

ンピー なりと差し上げまする場所興行無料入場券」何 上御勘定の方には「帝都 御勘定の方には + + 九

御客樣

御內帑金御下賜

0

優諚を拜

張國務總理謹話

もして、 ・ 本等 ・ 本の ・ 本の

数島高女學校若集會主催の若 変會器習會は二日午前九時か ら同校講堂で開講式を懸行し た、會員約四十名の出席者あ り、大浦會長から講曾會の趣 「注意事項を述べ各講師の和

平後の部西岸料理からでれる、なは敷島高女卒架者入倉を敷島高が

中山氏等哈市へ 新設を計の調査かたが一二日 年後四平街網由北端に出張し 海氏、周鳴託技師中山克巴氏 海氏、周鳴託技師中山克巴氏 海氏、周鳴託技師中山克巴氏 海氏、日程は約一週間の豫定

出

時の情報を奏上するといまりたるをもつで臣は當時の情報を奏上すると、第四日の情報を奏上するといまりたるをもつで臣は當時の情報を奏上するといまりたるをもつで臣は當時にあるをもつで臣は當時にあるという。

初妻英氏、外務局屬官宮崎滿尉片桐良英氏及びⅢ東軍郷託

出席生徒四百餘名は早朝校庭 指導員十五名その他多數あり

をび撃校側から羽田校長、精 行ひ同八時一旦終了、参觀者 行ひ同八時一旦終了、参觀者

五日陸輝す 滿鐵對中銀

職對中央銀行對抗陸上競技

P

お

(B

四百

餘名の青年訓練所生が

訓練

曜

H

B

驛頭軍官民多數に迎へられ

國境の華今朝着京

東軍幕僚、治安部員、外務局 十分新京酔から行列で新京長 に六勇士の遺骨は二日午前九 國防婦人、中初等學校生徒兒 の今時四十二分管列車で悲しき國 童等多數の出迎へあり、一旦 から 時四十二分管列車で悲しき國 童等多數の出迎へあり、一旦 から 大橋外務長官を始め闘 迎入の總香をうけて同十時二 から 大橋外務長官を始め闘 から (大海道人、日満 春光 (大海道人、日海 (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人、日本) (大海道人・日本) (大海道人、日本) (大海道人・日本) (

寄寺に移された、なほ六勇士 の合同財霊祭は四日午後二時 定である(寫眞は韓頭)

つき凱旋六勇士

新

京

彩行

續は誠至

稻荷神社や日蓮宗から 恤兵金 國愛

本 五十銭と併せて皇軍監問金をして答託があつた、献金をして答託があった。献金をになり、数用もかり、数用もかりの機意を表したいと氏子一同の変流による献金でありを表したいと氏子一周の変流による献金でありを表したいと氏子一周の変流による献金でありを表したいと氏子一周の変流による献金でありを表したいと氏子一周の変流による献金でありを表したいと氏子一周の変流による献金でありを表したがら皇軍財団の変流による献金でありた。

包草通あ年前子本富六同い代園薔

規則運用

1-

社地方課長事務取扱

野

・ 前同本務所に無名 が が した、なはさる三 を は るが

題けられたが寄附者が判明 書記ド夫人であることが弾 書記ド夫人であることが弾

取扱官

の講

原動機取締の萬全を期

近く首都警察廳で

の勢を見せてある。 へ 最高潮に達し當 がこの第一線の將 の師は 本社寄託や軍部

▲市内曜町三丁目に在る新京 稲荷神社氏子線代加藤賀氏 知稚園を見の一行と來社、 地様園を見の一行と來社、 が開から開かる中から健東

材料を費つた純益金拾五圓 電司令部へ金百圓を加兵費として献金したしと本社に寄託した、尚外に經王寺と新京した、尚外に經王寺と新京

品

主任召集して保安 常事警察官及び使 常事警察官及び使

國婦今日荷造り

か講師となり同取

が、白崎、高見の同人七人に 大ので、白崎、高見の同人七人に 大ので、白崎、高見の同人七人に 大ので、一日より七日まで三中井ギ を開催すること、なつた 出陳書はすべて同人の近作 に特選の祭冠を得た白崎海 に特選の作り松花江畔々は機 はれてゐる はれてゐる

贴

日慰恤獻金

のた関防献金、恤い一日の兩日駐添海の

滿海軍

協和雲間島省本部では間島省 を、來る九月五日延吉西廣場 において間島省時局省民大會

延吉で省民大會

附方を依頼したので同事務を取纏めて上海陸戦隊へ送五十圓合計五百額の慰問金五十圓を計五百額の慰問金五十圓、編信金融會社から

ンのトップも

土星會

展 美術シーズ 飾つで在京洋畵

るた慰問袋五千個西南國邊第 であるが、E 婦新京支部では 関防婦女會と協力して夢つて 関防婦女會と協力して夢つて 海友會献金

對策は

个話

せ

1

青木對滿

事務局次長來京

記者團との會見談

會員、下は年島人の献金 を開発發送荷造中の國結 を関係を受送荷造中の國結 を関係を受送荷造中の國結 を関係を受送荷造中の國結 を関係を受送荷造中の國結 を関係を受送荷造中の國結

設表會を開き正午閉會した 大尉等は引續き會議室で研究

一、日瀬社會事業聯盟の結成 決議事項の處理に関する件 決議事項の處理に関する件 決議事項の處理に関する件 協議を行ふの件書

祐社會事業聯絡委員會は來

聯絡委員會

瀬織運動場で開発される 4 公園 成したが記者圏とので終って武部関東局で終って武部関東局である財間重要

今度の北支行は事變後の細ったのは、幾日位滞在するかけにはゆかぬ、幾日位滞在するかけにはゆかぬ、幾日位滞在するかのかぬ、幾日位滞在するかのかぬ、幾日位滞在するかのが、

コート開き 西廣場保樂部で

五日滿鐵が

特別市公署では二日午前十時 から協和會館會議室にて來る 十六、七兩日零行される國和 建設記念式典に於ける滿鐵、 建設記、協和會等關係機關幹 部及び市民部員一同を招き剛 屋副市長司會のもとに同式典



海鐵運動會新京支部では豫て 上り西廣場社員俱樂部後庭に 工費約三千團を投じて建設中 であつた庭球コートが完成し たので五日午前十時からコー ト開きを兼ね色別リーグ戦を 行ふことになつた

に直行すること」なつてゐる 浦、新義州、安東を經て天進 小日山製鋼社長は二日小日山製鋼社長は二日

敷島高女若葉會講習

を進めてある。 を進めてあるが、 を変換し、 を変換し を 東亞同文書院 あす(九月一日)

第三回

注き

L

12

富

土星

會

同

が今

月

三

日より

まで

五階ギ

迫ちれてゐるので、墨校常局院では夏季休暇明けの開校に長崎國道』上藤東亞同文書 長崎市で開校 ▲八・〇〇浪花節「伊庭如水村友春▲八・三五長唄「橋郷市の〇連機講談「軍事探偵」へ東京)芳村伊四郎外▲ ▲土星會洋温展、三中井 ▲大徳ビル毅工披露、午後四 時一六時 本新京神祉秋季大祭打合せ會 年後三時、漸頗支趾會議室 一今晩の主なる演奏放送一

倫曾

畵

展

覽

金巻百を 金参百匱、同行負一局から務所を訪れて新京銀行から役梅津清兵衛氏は海友會事 寫真說明 海陸風像慰問金募集を

連に飛び二日午前八時十分着 日京城設連絡機で新京着の独 定を變更して一日京城より大 定を變更して一日京城より大

たらびに漸溯頤側各機動より 各十名宛の委員が出席

の秘書後トして北支に轉任す

記念式典を前

關係各機關集合し

二日最後的打合

なつてゐるが、朝鮮郵船では 朝鮮貿易の領展上闊心の的と 北支貿易促進の発驅として西 鮮津航路開設

大徳ビル竣工 H

本を招待して披露を行ふ を招待して披露を行ふ が表示時迄の間處係各方面の人 の方時迄の間處係各方面の人 の方時迄の間處係各方面の人 の方はこのほど 時着列車で来京した勝角要務科長は二日年 新築披露 人かどのね

午前八

四

合同告別 立委員長 平

春 む 力作 來心 品 血 加

尺八 琴古流 井 J 東 列 文化譜 杵家彌壽清 ・初心者歡迎懸切指導上達迅速

となり一日午前十時より同社 となり一日午前十時より同社

奥の奥誌賣禁

よ番日キい縁本ン

昌築家む護・世出人む讃

日新聞社に合同せらるムこと率天新聞は一日を以て奉天日

日

に合同

九月一〇日 九月一一

御承知置被下度侯 九月六日より 弊大徳ビ り左記に於て從來通營業仕候問ビルデイング落成仕候に付來る

移轉先 新京特別市大同大街二

大徳ビルディ ング 四階 〇五號

大德 份有限 公司

祭但日ッター 來り

具/現由ヲ具シ新京警察 ・左記標単ニ 鹹リ検査リ ・ 放査ラ受ケラルヘシの

七號

千金の

集

央通 輸 入百

百四四三年の大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、工学

商

女事務員を求

慶樂路七二〇(滿洲國官東消費組合バス停留所前) の本での事で内に親達ある方御希望の方は自筆履経書持会午前中市内に親達ある方御希望の方は自筆履経書持会午前中市内に親達ある方御希望の方は自筆履経書持会午前中

2

-t

t

1 1

なる。

世才前後

店

射て 夜 的射 美遊喜

女史原作波瀾重疊

「人妻棒」

以

上野村浩將

督

座春

通子

名度

食

元

迄

ギ

を

的 た

上た

一是

〇非

ス様

0

西

公

あ

賣

E

f

辨折

當詰

烹割ィ

3

の九

青年が外人部隊

の松竹割期的文藝巨

篇!!

切迫る

長

演奏曲目決定

純益は皇軍慰問献金

(三弦)小松雅蓉(筝)白水雅娟、後藤雅蓉、高谷尚子
一〇、「春琴抄」西田方山(三絃)小松雅蓉、(筝)白水雅頌、曾谷尚子
一、「黑髮」驟田大勾當
一、「黑髮」驟田大勾當
一三、「萩の醬」片間幻山、山本繞山、(三絃)

綾映、これに漫画、日支事變 左の如く新興一番線に観バヴ アリア作品を配し更らに特別 がある。 一直をして哀絶人情双六」を がある。 一方のでは、 一番線に観バヴ

「台灣金魚」

て一云灣イはに故に

4444

銀座キネ けふから

痕彈。街黑暗

南图太

50

香作の際子タン相手の話に はつて「姿も熊本よ」「姿も 神戸よ」等々云ふ、たまく 能本ときかされ同郷機しで通 ひつめたある人ある時神戸の 人と同席して「妾も神戸よ」 を聞かされ「君熊本つて云つ てゐたぢやないか」と詰関に 及べば「あーらあれ第二の故 郷よ」……さら云へば彼女に いつか「和歌山市よ」と云は れた人も居る ▲イナリのセイ

上雅徳と、「小銀治」鹽田茂風、「小銀治」鹽田茂風、「小銀治」鹽田茂風、「水田愛子、古本久子、齋藤ナルオ、新田愛子、古本久子、齋藤ナルオ、新田愛子、「本久子、齋藤ナル大橋勾當、(等二部)鹽田 佐々木雅治、 ---

をして左の如く歐洲もの三木 三個公寓コレクション第一週 農業劇場二日よりの番組は第

在京尺八、零、三味線の三曲 を京尺八、零、三味線の三曲 地方课社會係及び本社後援の 地方课社會係及び本社後援の 下に稀鐵西廣準俱樂部におい で開催されるが同夜のプログ での質察會入場科は五十銭で あるが、これが純益は零げて あるが、これが純益は零げて

歐洲物三本

りその演技は特来を有望観されてゐたもので、今回の抜権 により、 態よ映畵俳優への等 により、 態よ映畵俳優への等 泉に入社 古川登美、

治される。おおいまれどの形を難さ如し い 高 に の 傷 め に 勢を

が吉 は過ちなく終告 か古 に過ちなく終告

京 崇 話 智 3 路 -六 0

15 装 ン ځ は 田 曜 一六三 社

●一的の人 憂ひの淵に沈むよりも氣を樂々と持つべし地と庚と辛が吉・二黒の人 遅る」とも酔かに進むべし急けば躓き多し丙と亥と壬が吉・三碧の人 牛氣肚なる日氣を揃へて勵めば萬事成易し庚と辛と寅が吉・これた 太癸金安已曜

日九廿日三 月七舊 月 九

を乗員は日本語が網帯にして 特別長期滞在の四 特別長期滞在の四 時別長期滞在の四 つテ 525252525

呈 名

部ご改名更生致 何卒よろし しました

改名

改 が内外の設備を 元の天狗俱樂部 新し勝彌俱樂 部



改正の

0

狀勢に適

の要點

商工次官村瀨直養氏談

今回の暴利取締改正の第一 機が大ことである。從前の 規定に於いては「急激ナル市 規定に於いては「急激ナル市 規定に於いては「急激ナル市 規定に於いては「急激ナル市

酒度映

大大大大大大衛豆 智智楽

ーーこかきいれた。宴で書 たのかも知れない。 たのかも知れない。

6555 | 5555

をみるさ、娘より先に、他

娘より先に、郷土

なにか認つかぬ眼の色を支配人はすばやくその館の中に

際屋ボデ

EXX

粕

事ひさりてのみこんで、新版 総信や、それに類した客たち 成にあてがふこさにしてある。

なまめいた。飾り

いある部

たが、そこはまた高質情、 、支配人の職業眼は、一

座キネマ

33333

の「急激なる市債の

社債發行強定額三千八百萬圓 申拓の窪寺理事を招き、東拓 申拓の窪寺理事を招き、東拓 ・銀行、信託贈各代表および ・現行、信託贈各代表および ・現行、信託贈各代表および ・現行、信託贈各代表および ・ の本年度事業銀行では一

九百萬 したところ東拓側においても ・ はよび 統制の精神に鑑いダンダケー により事業計畫の組蓄を要望 ・ により事業計畫の組蓄を要望 ・ により事業計畫の組蓄を要望

これを認承し、結局同社本年度の社債設行豫定を常初い約半額の千九百四十萬期に縮小することに決定、内六百萬圓 とになり、改府の資金統制にといなり、改府の資金統制に超小り間が自治的統制に突出したことは注目される

米大学 (本) 1 年 (本) 1 年

有力なわけである、尤も右は と見られてゐる、尤も右は 管理により輸入は可成おさ 管理により輸入は可成おさ もれるので結局入超尻は六 りれるので結局入超尻は六 りれるので結局入超尻は六

一 二回 二一二二一三三五八二答 件件件件件件件件数

北 支 100% 中南支 100% 中南支 100% 東南支 100% 東南支 100%

100% 1 200% 1

勿の影響の大概であるが、地域上が大量北支事變による別

市產業部調查

数次の

に努む

五に 大しつ」あるが、野支管易中で大しつ」あるが、野支管易中で大しつ」あるが、野支管易中に北支との関係密接なるナー、関京では事變致生以来での貿易上に及ぼせる影響に注意を高負、大阪間工會議所貿易部員とし、で商品別回答を一大阪商品別回答を一大阪商品別回答を一大阪市産業部員、大阪電子の大阪市産業部員、大阪電子の大阪市産業部員、大阪電子の大大阪市産業部員、大阪電子の大大阪市産業部に対し回答を表示して、一大阪商品別回答を一大阪商品別回答を表示。

東拓

0

本年度社

債

六億圓臺豫想

に入り出超に

對滿投資圓 團共同 滑

発音 四二千瓦 一二九、〇〇〇園

は一週間程前から反撥の氣勢は、 は一週間程前から反撥の氣勢を示してきたが、卅一目の引を示してきたが、卅一目の引を力となってるたとの見解が漸末有力とは、 といつてをかられる。 をはあまり誇張されすぎたのは間違にたといつてをり、ヒューゲッはたるの見解が漸末有力となる。 を認はあまり誇張されすぎてきたが、十二日の引きは四十七といつてをり、ヒューゲッとなられる。 を高場は再び上向くだらりと

地の華商に對し一部為 り自競的に出荷を見合 いの事質上機出不可能の のり、危險防止のため 南浦中北 神州支を無しと回る もの コール

天株

の日にあたる午後のここであ

おかい

ろか、たしかに赤の他人

粉れもない連込

はじめて凍つた、ちゃうご次するほごである。さて、湖が

11111000 H きたものはちよつさがつかり

商品市况 棉糸

(二石値段) 出來高

等いいでは、 なが、このロッチについた。 高い納土で雪の中の筋にについた。 と解した煙を、まつらな毛 をにうづめた若い態。 を言って、田中清、同じく文

かしてゐるさ、ト分さた」ないうちにまた新しい客だつた ――女中をつれた、明かに 「他をうづめてゐる。 全日は終しい客ばかりくる さ思ひながら さとか繁鼠のあるうなづき がたで、難人客はあいさつに 3.20 雅神 12.20

特別與行階下 五 十一億

ツオーレスピアリ 10.8 | 6.35 イ主演経験師の子 2051 | 7.46 納日ユニス 25. | 7.99 東稿ユース 3012 | 8.7 -ントー; ウ主 3・12 8・7 (斃の爆撃隊 4 42 9・87 スアルバース 11.050 1.45 9.4

12:00 3:08 7:1 12 48 1.26 8. 1); 0 重 1.59 9.27

側にあたる方にいたしませう になるが、おれの眼でにらん ちやうご。二つならんであい 文句の多い客だが、夫婦で いつたいなん

だらう?

あたり兄妹さ

ないざすれば、

電業相談所

こさに相ずみません

いや

その方にしてもちひたいね」

ではい、はい、では、この要と をないね。見える方の都屋は あいてないかね?』

電気御相談 五家賞三五<u>画</u>一会来 会主事でルニ階 一会・アバート

しだ、恰好な部屋があつたらなかつたはずだぜ。二つなら

映画御案内 豊楽劇場

新京キネラ 陸軍士官學校 近日開映 ワイキキの ービス係募集 南風丘 日活文化映畵部 精鋭を語る大記 新京キネマ 宣樂劇場 1.58 5.40 10.52 て虫歯の 250505055056 徴防にな 坊ちゃん る新高の 新髙の 風船チウ 新高の お友遠 膜ちゃ 美味しく パナナ インガム ヤラメル 新髙の 風船チンイン パナナキャラル + 1500





桑銀近く各方面に諒解を求む 省内産金額は左の通りへ入る、なほ一月より七月まで

数ある 比前年間の 250% 対抗 100% 对抗 10

強白。

吉林

畵 作

三元の路三元電二〇

◇豐

真房使

(1)

資家御案內

0

部屋はいけない 『はあ?』

・、本年上半期動支配出は 一、本年上半期動支配出は に比し著増せるも八月以 降は事變落着造成約全然 不能(綿糸布) へ、本年度下半期は前年に 比し伺期の二、三側の収 比し同期の二、三側の収 以しの別の二、三側の収 引が可能か?(卸)

本は国答中特徴あるものを 一、三示せば 一、三示せば は駄目ならん、同割減と いふ吞氣な話に非ず、對 に動目ならん。同割減と いふ吞氣な話に非ず、對 た事なし(ヘシカチェフ

本東京株式 (短期) 大連株式 (短期) 大型 (1000) (10

商况欄

の年、八字 (日)

かだっ

その選込みが、 当々こんな しすぎる。

要 5.57 2.25

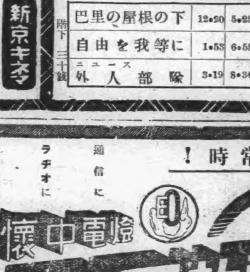
帝都キネマ より五日間

日記

トンガリ

日産 辰已小僧出現 12.544.36 8.18 9.22

百 獣 の王 者 洗行歌映書化 そんなの嫌ひ 日支 神變ニュニス 郷 山 彦(後篇) 12.00 1.10 8.38 5.5 11-0035



を先發一

の残敵掃蕩に當り、更に空軍ご砲兵陣地の掩護のもごに二日朝來實山攻略を開始し、砲煙天地を先發一日午後五時早くも獅子林砲臺を占領、日章旗を高く掲げて萬歳を三唱、間もなく附近[上海二日發國通]淺間部隊は藤田部隊ご協力吳淞鎭方面の敵を攻撃すべく卅一日夕刻原駐地

獅子林砲臺占

陸

連絡

確保

支那沿岸航路

全然杜絕す

0)

を厳ひ悽慘を極めてゐる

会永部隊も〇〇攻撃前進中で双方の先發斥候は途に某地にお

いて相合し上陸最初の陸上連絡が確保された模

他方具飛繍を確保した

の日支連絡航路以外は上海寄に至ったが、外國船も日本船に至ったが、外國船も日本船

楊子江封鎖とわが中南支海岸

語る 一角酸酸通温を 現所の中に 素然として ではせた和知部隊長

いまれぬやら確固たる決定 原理であり、その決定こそ米 関の對外 關係を律する根本 ない、米國政府の政策中何 ない、米國政府の政策中何 ない、米國政府の政策中何 ない、米國政府の政策中何 ない、とは如何に辛辣な批

には他國内に對しは自省、對外的に成功等すれば中がて政治的 所等政務等れば中がて政治的 に成功等すれば中がて政治的 に成功等すれば中がで政治的 に成功等すれば中がで政治的 に成功等する。また世界各 に成功を対闘する

勇敢なる一番來り

念敵彈に斃る

尊き犠牲寺井少尉

Rるが、わが軍けこれ 関連に置する程弧くな

小津、淺間各部隊

中央軍最精鋭部隊を撃破

護問部職は獅子林砲臺および月浦鎖の線を確保して南進中で

【上海二日發園通】吳巻を攻略した倉永部隊は既に大金家村に進出しつ」

【上海二日發國通】一日聊子杯砲臺および月浦鎖をを占據した漢間部除は時を移さず

最

登意

「青島一日發國通」下村第○○戦隊司令官は一日左の聲明を發表した不幸にも日支間に衝突が起り北支および上海において不幸にも日支間に衝突が起り北支および上海において本其影響を受け日支の感情激化し、殊にわが海軍の淄港が変那軍に狙撃されてからは事實上戦争の一歩手間である、日本の武力をもつてすれば職禍により思出の山河は形態を變じ、多大の財産が灰壁によし、幾多の助河は形態を變じ、多大の財産が灰壁により思出の山河は形態を變じ、多大の財産が灰壁により思出の山河は形態を變じ、多大の財産が灰壁により思出の山河は形態を變じ、多大の財産が灰壁により、

また帝國居留民の遺留して行く財産、資源の掠奪的企例が右帝國の興章を誤解し胃島市を暴民の港と化し、じめて出來た應當である、しかるにも拘らず若し支那としては、北市長以下支那側に對する平素の信報を前提としては

また權益保護の萬金を期するものあるから今後と雖も屢々立寄るこ

なるであらうが、平和的目

行ること」

帝國の示したる最大の好意である

可令官聲明を發表

のである。これは青島の平和に對す的をもつて全居留民に引揚を命じた帝國政府は戦争の危險を除去する目野土等が殺されて行く事は見るに忍びぬところである

に限し二日左の如く摩明書を破表した「青島二日發展通』大鷹總領事は青島總領事館の引揚げ

に至り支那の對日空氣は極度に惡化したが、青島に力を傾け巨大なる經濟地盤を樂き來つたもので、最子の居留民は右條約を基礎として二十年餘熟誠なるの世られたるところは外にない、青島にあるわが一萬

お近努六

天津

避すること」なつた」

支那に派遣決定

ソ支密約に基き赤軍將校参加

丁大臣歸京 治安部大 三十分着(延着)あじあで率 三十分着(延着)あじあで率

不干涉外交方針

ル國務長官の放送

外國汽船を稀に見るに他内には今や沿岸通び

が過日のフーヴア號爆止し、アメリカのグラ

影を認め

部下の忠勇さに

思はずほろり、

和知部隊長陣中談

を は は ない とい ふ 関 都 ぶ り で 日 巨 船 を 横 づ け に

大鷹青島總

領事聲明

支那全國を通じ山東の

如くわが機益の條約により保護



朝

44

【頁二十刊夕朝紙本】

9 ਗ

賜あつたのに闢し孫民生部大寺水水害救資に御内帑金御下 臣は左の謹話を競表した

孫大臣謹話

ス第であります かところ只々感激に かところ只々感激に

内帑金を拜授致しま に聖恩の洪大優選に

勇敢過ぎて困る

より約一時間半に亘つて虹口 が、徳領事館附近の建物を小附近の支部軍は今朝四時半頃 十散鏡の追撃砲彈を發射した

ける邦人は冷靜と自重とをもつて終始何等の事端を超さず、北支および上海において不幸日支剛軍の個突を行った、帝國政府は平和維持のため極度の犠牲を排び来に大所、北支および上海において不幸日支剛である、小なに、帝國政府は平和維持のため極度の犠牲を排び来に、帝國政府は平和維持のため極度の犠牲を排び来に、帝國政府は平和維持のため極度の犠牲を排び来にあって、右は日本政府としては支那側に対するものである、余は支那側においても宜して自立の報理をあって設に居留民の全面的引揚げを命ずるに至った、もので、右は日本政府としては支那側に対する自動となって対が方の情遇及びこれに伴ふ當然の要望を養観し帝國政府をして隱忍し得ざる破目に陷めしめることなき根政府をして隱忍し得ざる破目に陷めしめることなき根政府をして隱忍し得ざる破目に陷めしめることなき根政府をして隱忍し得ざる破目に陷りとなる。 胃險ダイビング禁止

天津の治安 着々恢復す 日本軍の猛攻撃で

【天津二日發國通】北支各方 以來天津支那梅の質量は固く での放設令を午後九時から午 台よりの金融によりとりあえ での放設令を午後九時から午 台よりでして での放設令を午後九時から午 台よりでしてるたが、市商 での放設令を午後九時から午 台よりでしてるたが、市商

市商會斡旋 一元迄人質開始

ソ聯、軍事使節を

を協動する意向と傳へらる第で を協動する意向と使へらる第で が大尉以下ソヴィエト赤軍 大尉以下ソヴィエト赤軍 できトルロ書記長は日本軍 の占額がで空路影 に変込むことになつたが、 できるのでない。 でのよれがで、 でのようででない。 でのようでは、 でのようででない。 でのようででない。 でのようでは、 でのようででない。 でのようででない。 でのようででいる。 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでは、 でのようでいる。 でいる。 でい。 でいる。 我爆撃の眞相を

支那當局ひ 鹽澤前警備課長

三日朝離京

九月

支那兵脫走續出 捕虜、蔣介石を怨む

は空場となると三度の仮を一下る必要はないぞ」と氣をもといった、急降下した飛行機・出のをはじめ酸死四、重輕傷を関しても飛びだし敵陣地で、かが大き、もらあんなにまで、することもあるから危ない」なのをはじめ酸死四、重輕傷をにしても飛びだし敵陣地で、む始末だ、航空殿横井参謀の「水野びピューンと元氣よく舞」、名のをはじめ酸死四、重輕傷をした、あの損害、大変が凝重航空酸は連日決。のがけてダイヴイングをする。こともあるから危ない」なのをはじめ酸死四、重輕傷にしても飛びだし敵陣地で、む始末だ、航空殿横井参謀の「か男びピューンと元氣よく舞」、名のをはじめ酸死四、重輕傷を記げる大変の表が、より、からがるまで双眼鏡をはなる「は死傷二百を出した、敵の損害となると三度の仮を一下る必要はないぞ」と氣をも、といった、急降下した飛行機・十名内外を出した、敵の損害となると三度の仮を一下る必要はないぞ」と氣をも、といった、急降下した飛行機・十名内外を出した、敵の損害といった。急降下した飛行機・十名内外を出した。敵の損害といった。急降下した飛行機・十名内外を出した。敵の損害といった。 まりかねて一日午後「敵のと空〇〇メートル以下降下すべ からず」と命令した、今迄のは命令だからこの禁を破つて目験したものは命令遠反になるわけだ、だがこれは優しいる親のの優響である。

横井参謀の親ご、ろ

引揚延期

香港の在留邦人

香港方面に を起し、炎々たる焔は天により開北要根路一帶は天火

したのみで、わが方の居相

(上海二日愛園通) 香港よりの報道によれば、二日午前二日愛園通) 香港より、港内碇泊中の船舶多数必獲。 生産した、香港における支売 人の死傷者も多数ある目込一である 【香港二日發園通」香港化館 邦人の避難は三日から開始さ 和るはずのところ、颱風のた 香港政廳側と協議の若果、六 香港政・日正午までに新 日朝から七日正午までに新 することになった 競馬 秋季第二次 午前十時開場

地 列車砲を爆撃す

敵ならびに敵砲兵陣地を爆撃し、又〇〇飛行機

に猛射を浴す

E

なく〇〇本部職長以下將士元氣一ばいであれの支那軍に考へられなかつた頑強さを見ばれるかった頑強さを見ばれる。

頭張さを見せ〇〇部騰と相當の激嚴を交へ損害また僅少ならざるものがあつ各一部をもつてするわれに數倍する大部隊で、敵の戰闘は健氣にも突撃また胎した、この方面の敵部隊は中央軍の最精鋭たる第五十六編、第六十七師、

一師、第六十七師、第十一師を中心とする敵は、中央軍中の最精鋭部隊と見られてゐるが、

その職術の

正上海二日漫園通)一日午後 ある、この職にあつて我軍の五時漢間部践獅子林岡薫占領 機能僅か五名、負傷亦十名を整して築造されたる敵塹壕に近づいた時敗走兵の放つた小鉄弾に頭部を射賞かれ「天皇 とりが 子血母子で 窓の最死を逐げたものである か、部下の兵は職長を大死さ 水の最近を返げたものである が、部下の兵は職長を大死さ 水してある か、部下の兵は職長を大死さ 水してある 水の最近を返げたものである 水の最近を返げたものである 水の最近を返げたものである 水の最近を返げたものである 水の最近を変が、部下の兵は職長を大死さ 水してある 水の最近とのである 水の最近とのである 水の最近とのである 水の最近とのである 大人火火地 と しん 大人火火地 る なば 大人火火地 る なば かいが アル・カー で 大人火火地 る なば ない かい かい アル・カー で 大人火火地 る なば かい かい アル・カー で かい かい アル・カー で かい かい アル・カー で で かい アル・カー アル・カー アル・カー で かい アル・カー アル・カー アル・カー アル・カー で かい アル

(=)

社

說

日支事變に関して諸外國がどのやうな態度を取るかは、とのやうな態度を取るかは、たってのところであるが、此處には米國の態度について観察してみたい。これまでのところ、その賃意は 別として、表面に現はれた限 するといふものであつた。そ安定、通商の機會均等を要望 を切望

部験的從軍僧によつて實現の とはいへ廿九軍將兵の奮闘は るものはなく、風雨にさらさし東名をはせた赤柴部隊長は 床しさは職場美談として内外 わが將士の襲賞するところでし現名をはせた赤柴部隊長は 床しさは職場美談として内外 わが將士の襲賞するところでは一貫名をはせた赤柴部隊長は 床しさは職場美談として内外 わが將士の襲賞するところでして天津一日殿國通」靜海攻略 選びをみること、なり、その 敵ながら天晴れで、よく戦ひて天津一日殿國通」靜海攻略 壯年者は强制勞役 女子は慰勞隊とし暴行公認

敵遺棄死体收容 靜海に供養塔を建立する 赤柴部隊長の義擧

れたま、放置されてるる状態 なので抗するものにはあくま で断手層然の側を揮ふが赤柴 原表もこの事質を深く悲しみ 解海占領後適當な供養方を考 順本部員離上惠教師(大阪府 豊能郡店内村田身)が同部除 長の武士道精神に感激し、即 底に供養塔建立に一肌技ぐこ とを約束し、近く靜海供養塔 を建立し、無名戦士の鑑を用

廣東

ではこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 をのはこれを取上げ、態度不 **文那空軍** 市民の逃避

「東京國通」上海職線の視察 を終へて一日歸京した海軍省 軍令部附樋端少佐は左の如く 生々しい親祭談を獨した 支那軍は思つたより强い。 さきの上海事變に比較し遙 かに强くなつてあるから決 して氣を緩めてかよりでは して氣を緩めてかれるでは がに強くなつだ。職線を親 がに強くなってもるがら決 樋端少佐視察談 11

支那軍の暴虐暴露す

英米商船

共同護送案

海港に

石化し郊外に逃避するない。これを臨分するない。これを臨分するない。 者續出

は三分の一に激減 極東の事態に

中のルーズヴェルト大統領は中のルーズヴェルト大統領は一日リー海軍作騒部長、ピンーの別立で静豪

は

の對領東政策を指導する方針まで自主的立場で親しく米國主の主権で親しく米國

を開される、確開するにフー を開される、確開するにフー に同意する意向を示したが、 に同意する意向を示したが、 のの提案を退けたものといまっ る、ル大売り 米國は自主政策堅持 目 一、米國政府の對策は米國民の宣傳時職處よ活設となっ、米國政府の對策保護につき を表示、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはあるが、大統領としてはある。

「関目の政策を堅持する建前

治

射落されたのに想りて を飛んでは銀鰡のやよ それも主力部隊をわぶ に殆ど破壊されて極め に発きなりだ 極めなっているのでに

熟誠こめた

巡信販賣開設御申越次第各種見本報 W

降~品質

一下電点

愛國機

観測は

は既に 機命名式が羽田飛行場で行 れ、杉山陸相以下陸軍省、 續々第一線に出動して 二日午後二時から歌 積々前線

產

科科

内

小兒科

松

鐵

洋

行

性病科

雅話(3)五六〇六番

綠 醫 院

吉

電 ③ 一 九 一 六 番長春大街三〇二線図紋着寺筋向

AFPR

の好意を感謝し、帝國の正義留民引揚げに對する米國政府 せて日高参事官南京配出や 戈を交へるに至った。 室々全米に放送して同八時 三相演説草稿を 行あり、續いて東京市その一子後即國機、偵察機の高等 **それぞれ愛國第百卅七號から** に献納者の氏名 白四十六號に至る晉號と共 回飛行を行ったが 陸軍藥局方收載

租稅減免猶豫

B

比較して多大の相

本から反撃を受け

京

にとか註文したところで何ら 別事疑の際に於よるスチムソ ン際明が「武力によりて惹起 せられたる如何なる事態も米 関としてはこれを承認するこ とが出來ない」と言つたのと

張家口に平和の訪れ

日本髪の女もちらほら見ゆ

居り慣現は疑問観されてゐる 米艦隊が共同して商船護送を 米艦隊が共同して商船護送を を必要とするものだと認めて を必要とするものだと認めて

現在では緊迫狀態も大部総の内に立入らぬ棲嬰望したがみ米園商船に對す支那領海水の原立が明治がある。

緩が海鑑他

府の對策如何と質問を受けた 行遮斷に觸れた場合の米國政 行遮断に觸れた場合の米國政

し左の如く答へた

國の正義を

は極めて慣重、鬢戒的な態度する立場から右報道に對して

信ワシントン一日設図通)商船の支那海港寄港中止問題 につき左の如く述べた

が、さらに支那向飛れ間もあから米國商船は間もあかについては確言をかについては確言をから答地

正式に決定

故郷を想ふ將士達

にとか、國際協定を守るやり、力の衝突が起つてゐるとき、

で経済には、 で経済に銀方面の最况進展に伴 が表店さが逐次暴電し、在支内 外人を痛憤させてゐるが、支 より次の如き事質が判明する に至つた、即ち支那軍は上海 における日支武力衝突勃發前 における日支武力衝突勃發前 における日支武力衝突勃發前 における日支武力衝突勃發前

図政府としては日支約争に発 上海方面から傳へられるが米上海方面から傳へられるが米 登案を考慮してる」の報道が 登案を考慮してる」の報道が

寄港山

止問

口長官

自記者團

に言明

日

【東京國通】 臨時幾會に提出される應召軍人の租稅滅免額間を受くべき所得稅及び純益別については大敵省主稅の限度については大敵省主稅の限度については大敵省主稅が、 近年であったが

【東京國通】近衛首相とはじ の臨時閣議は二日午前九時 かの臨時閣議は二日午前九時 がの臨時閣議は二日午前九時 がの臨時閣議は二日午前九時 がある演説章稿を決定するた 商况欄

八月二日)後塩

株式相場

の一句明

呼

吸器胃腸病電腦藥

か料、小児科

新京取引市况

病室、本館、別館入院隨意

應急修理

フ號神戸で

し正午散會した

出來高

積資經由歸國の途につい

新任ソ聯大使

の臨時的修理を終り、同船は日正午までに船膜の破損個所 信任狀捧呈 手形亦換尚(三日)

製し全幅の協力を行って**ゐる** その一は帝國海軍は闘軍の作職に

では詳上生活を經驗せ以人々の想像し難きところである 渤海灣に注ぐ白河は天津に 通ずる重要な交通路であるが 過數支那軍は大沽附近におい てその交通を妨害するが知き し白河々口の大沽砲

號十五百二千五第

今次の事變と

活動を超すを本旨としてゐるを極めて秘密に条の所在、行動を超するや疾風迅雷的に

カ、後のて 下で なる移動性を第一義としてを なる移動性を第一義としてを

大学、心能十八隻、心能十八隻、心能であるが、音響をなす。 一次の動に活動していては が、心配もあるが、音響をなす。 が、心配もあるが、音響をなす。 が、心配もあるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、音響をなるが、心能・一次を、

三日の定例閣議で協議する提出すべき法律楽工件を決定し貴族に関して

律案に関し

大にその概要を記述するこ

の認識も薄いやうであるから ならる、所少く、 從つて世間 ぜらる、所少く、從つて世間

時局の見極めがつかねとい
ふことも米園を隣路せしめて
るるであらう。かかる事情か
ら、何らかの設言を日支事變
に関して試みるにも權威をも
つてこれを言ふ事が出來ない
のである。日本が大陸に伸び
ることに對して列國がこれに
ることに對して列國がこれに

に認れる支那の優離を促しつ に認れる支那の優離を促しつ 大書さるべき一頁である 大書さるべき一頁である 大書さるべき一頁である 大書さるべき一頁である 大書さるべき一頁である 大書さるがき一頁である 大書さるがき一頁である。

た より偶然ではなくこれに對す と るかが方の備へは最初より電 語 国なものがあつた 取省軍事普及部の製行にかる 取省軍事等及部の製行にかる が大山大尉射殺事件以來急展 が する海軍の水も適らさぬ用電 遊 が

事變と我海軍

設三霞の價値あるものであら

をらざるが故に、 兎角世間の 代ってこの度の事變が起つ

次に右各項目につき更に詳述

\$ 0

陸軍で協同作戦

はしているとし

あし、もつて平津地方の安定が平関陸軍は第二十九軍を掛けてわれま事便においてわ

(H

嘤

金)

京初秋、快適な避暑旅行をさた、全に後の爆闘を題はせるのみ、集まし、最高を題はせるのみ、集まれて、全く修理なった鐵路

つたの胸に薄くは無量の感慨であ

【京城國通】一日午後十時五十分頃成北維基沖合上空に 怪飛行機現はれ旋回飛行をなしつ」西水羅方面に飛翔し 去つたが、羅津要察司令部で調査の結果同夜はわが方闘 保飛行機の飛翔せる事なくソ聯側がボセット調的近にお 水したのではないかと観られてゐる

州へ世界に認識されつ 州へ世界に認識されつ 村柄、一日午前七時四

る支那は排日を名楽つてわれ。
一を目指して對支平和外交を交換したが、自己の力を過信する。
一を表現のでは、対象を表現のでは、対象を行び帝国政府は東洋平和

堀内外務次官が

に放

国に政治的に容啄すると 場局損あつて利益なきも

すべきであらう。ルいに牽制してゐるこ

本 宣化を過ぎて張家口に近づけ 一旦避難した市民が歸り市街では朝の光を受けて立つ長城は には早くも平和の光りが輝いて ば朝の光を受けて立つ長城は には早くも平和の光りが輝いて ば朝の光を受けて立つ長城は には早くも平和の光りが輝いて が重疊として西方に望まれる 西方の激散地入角臺附近には で最初の丘を越えて張家口に 楽してあるが敗残兵は姿を見 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が遺 がまなほ累々たる敵の屍が置いた、戸毎に日の丸を掲げた には懐しい湯浅、〇〇〇瞬部 解に能に店を開き往來繁き 騒も居るのだ「〇〇はどうで というに関するというに記者

収扱ひについて協議した結果今後「支那事變」と改める【東京國通】政府は二日の閣縣において日支事變の名稱

とに決定し

雄基に怪飛行機

支那事變 こ改稱

の態度を背

+

嫡夫医院

八院室完備 **産部受付に三八九〇番** 定令

院長

事塾のため職務したる軍人、 事塾のため職務したる軍人、 国別方を左の通り制定、九月 一日附をもつて正式發表した 一、日支事變のため死務した。 電人、軍屬の遺族に對する旅客運賃 を定した。 をに対した。 をに対して、 をに対した。 をにが、 をにがにが、 をにがにが、 をにがにが、 をにが、 をに

取扱により割引乗車券の競車、遺骨の出迎へまたは受し、遺骨を護送師郷する時に、遺骨を護送師郷する時において開催の慰靈祭等において開催の慰霊祭等において開催の慰霊祭等に

リカへ放送 「東京國通」支那軍の無暴な 爆撃をうけ船造に大破損を震 つた米國汽船ブレシデント・ に入港したが、BKでは二日 に入港したが、BKでは二日

道

(三)

第一條 私設議道補助法に依
第一條 私設議道補助を受けんとする會社
第二條 私設議道
第一條 本
第一條 本

旅客運賃五割引

内地肥料界の危機に對しては 職別紊諸肥料が絶對的解決手 として登場すべく、何れに さるのとして該問題の時趣は であるのとして該問題の時趣は であるのとして該問題の時趣は であるのとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は のものとして該問題の時趣は

通1アルゼンチン在留同胞は 一 アルゼンチン

を行ふけず 駆に分ちて夫々當日の諸事 原に分ちて夫々當日の諸事

はベルリン一日愛園通」ベルー 「ベルリン一日愛園通」ベルー マイガー紙は一日の紙上でソ マイガー紙は一日の紙上でソ

對し今年度に限り左の如く改 受験地一部變更 で公布、陸軍隊學校志願者に を公布、陸軍隊學校志願者に 1日 の官報をもつて告示三十五號

充する

政府米國最高 大の秘書リーが とた一船客の一 まづ米西海岸に まづ米西海岸に まが米西海岸に まが米西海岸に なの。

鐵道 副業獎勵の 總局

興安大路四一九

電話(二)二大〇七番

本 でも屋間袋を募集中であること」なった、なは同會婦 の人部でも屋間袋を募めたので近く陪 の公使館を經て日本へ送金すること」なつた、なは同會婦 ること」なつた、なは同會婦 近時これが 近時これが でれるに至つ

婦産 人 科科

田

島

醫

院

一般農民の副菜養鵬に種々力 を注いであるが、近時これが を注いであるが、近時これが を注いであるが、近時これが を注いであるが、近時これが を注いであるが、近時これが を注いであるが、近時これが の製婆を益々痛感されるに至つ を注いであるが、近時これが の製造幣の機の栽培、ホームス 製造用の楊の栽培、ホームス 製造用の楊の栽培、ホームス 製造用の場の栽培、ホームス

完

事務

民刑

大延吉都市計 愈

は延吉縣公署においてこの程で計畫された大延吉都市計畫

全部設計を終り九月一日より に先だち三十日、午後二時より建公署後方廣場において間 係各機器代表の参須を求め返 休を機器代表の参須を求め返 は右都市計畫は門道路の改 間に互り軍要會談 一般理事と打選れ 中級理事と打選れ 中級理事と打選れ 中級理事と打選れ 中級理事と打選れ

高常、花井脩治氏は二日日帯選事李銘書、安江好弘、生駒鴻洲拓植公社總裁坪上貞二、 日滿各

疊

絶對信用の出來る

龜殿兄弟商店 電話(⇒)二四八二番

(3)四三三五番へ

給排水設備工事は

AKからア

ヴア號の

高常、花井脩治氏は二日日満谷機闘を歴訪、新公社設立の投援を述べた

辨 舞 世 士 士 般法律事務 (朝日座西路) 電の五三二四 西曾

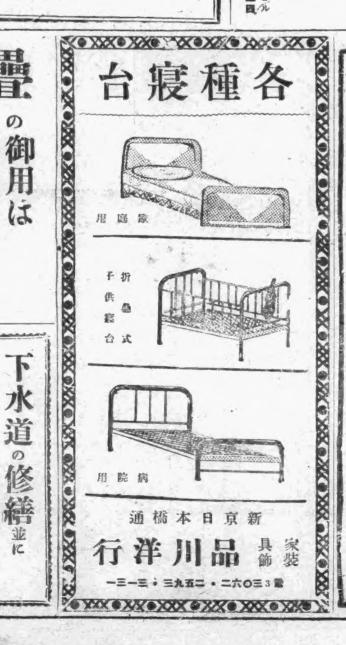


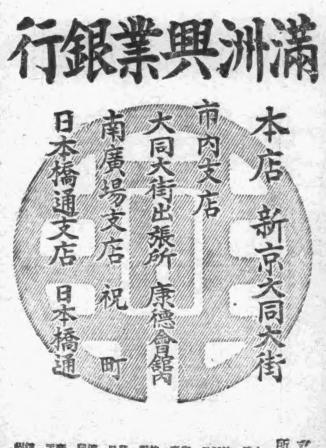
112

新京日本機構原 新 晋 快速! 式十五個八十三四 (月賦取扱)









所 在 地 地 所 . 杯吉 . 屯家范 . 横主公 . 翻漢本



場合等も、突然 でする場合、哺乳 の指示によっ

レモン、 霊材、 夏霊材等は横いたい、 霊材、 夏霊材等は横いたい、 霊材、 夏霊材等は横ったいないに切って清潔な布巾に包でしばります。 トは幾つかに切って清潔な布巾に包でしばります。 トは幾つかに切って清潔なるし布巾がガーゼでこしま

曜

一榮養を

(70) 子孝口山 臺

(新)に果物器はいのです。 が高に足がよいのです。勿論 取らず多種類を変互に與へ よろしくなるべく一種類に マト、大根の汁、林檎等が マト、大根の汁、林檎等が マト、大根の汁、

果汁の與ヘ方 は一 定煮立て、さましたお湯を加 へ倍位にうすめたものを一回 に茶匙一杯位一日一回與ヘニ 三日様子を見て、二匙にふや し又様子を見て三些と云ふ樑 に徐々にふやして一回八些位 までとし一日二回宛與へます 後にはうすめないまムを與へ になった。

ヶ月後から異へることがよいたと云ふ方もありますので三たと云ふ方もありますので三

味がぬけ

興へますが母乳はあくまで

型の変にせて下

500 and 1

果汁は必ず 與へて下さい は、是非果汁を與へなければ なりません。 之はヴィタミン

第の外に人工築臺を混ぜた榮 教を行はなければ赤ちゃんの 教育に差支へることになりま す。混合榮鉴には二つの方法は母 乳と代用品とを交互に異へる ことで、第二の方法は母 乳と代用品とを交互に異へる

本▼……赤ちやんがお乳を でなり、一回の母乳を休でしたら、先 での複型、これで具合がよる。 こければ先づ乳量が足りない。 では野乳の直ぐ後でしたら、先 での複型、これで具合がよる。 を時代母乳ではたら朝夕二回会 は母乳でようしいと思ひま での複型、ますから、一回の母乳を休で は母乳ではする。 ではない。 ではいるでしたら、 では母れば先づ乳量が足りな では母ればたの。 では母ればたの。 では母ればたの。 では母ればたの。 では母ればたの。 では母ればたの。 では母ればとのではない。 では母ればよる。 では母ればよる。 ではない。 では

た注意で豫防出來る

原屬小島司法主任談

大り他の宿泊客を装ふて旅館に入り他の宿泊客の入浴中或入り他の宿泊客の入浴中或服のポケット或はトランクが、中球に宿の女中、番頭には物更し宿の女中、番頭にはおきず、一寸用に出てくると稱しそのまゝ沙走する賊が大分あのます。宿屋の方に於て左 所に注意する際

1、墨動不審者及び鮮人らしい者で內地人を裝ふた。智奈の大金は旅館より申出てこれを帳場に預かること 停事場待合室、汽車中で他 人のトランク、カバン、ハ 人のトランク、カバン、ハ ンドバッグ其他の荷物を窃 取し又はすり替をなす窃盗 で掻拂の一種であります。 た人に看視を類みとを持ついたまと其席で置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を置いたまと其席を 購入を依頼せ にはかりませぬ にはかりませぬ にはかりませぬ

男の眼前で而も其身に所持立派に眼の覺めて居る大の

都くのも危險

すられ易いが財布、 物を入れ置かぬこ な多額の金を携門

外ボケットの

と財布貨

女斯コンコー 一番

八、三〇 時事解散 (東京) 東事操偵 鐘崎三郎 (終席) 一體齋 貞山九、〇〇 時事解散 (東京) 九、三〇 時事解散 (東京)

八、三〇 連續講談 へ

指揮 大 塚 淳

のらしろが

りません。母乳の出が少なくを忘れない様にしなければないないでしなければない。

八、〇〇義太夫(テリケベンの) 着本太功記(尼ケ崎ンの) 大夫(テリ

三、ハンガリヤンに

管絃樂

易い手口であ

云ふりがありますが、どんなに少しでも母乳は赤ちゃんのほかに甘露ですから、暖さないことがよいのです。

一〇、一〇ニュース再放送一〇、三〇北湾の時間(哈爾濱)

二、アンダンテ・カンタピレいふ神聖な聖杯を護りつつ進 曲である。 曲である。

アンダンテ カンタピレ

告知事項、番組豫告 (新京)

ー、 歌劇 コロトエン グアーグナー作曲 ウアーグナー作曲 ウアーグナー作曲 マティン・前奏曲は ディーグナー 供心の で、十字架

宮岡(査)上森(夜)

連續講談(終席)

の第二楽章を編曲したもの。 ・最初の絃楽四軍奏曲ニ長調 ・最初の絃楽四軍奏曲ニ長調

標質鐘崎三郎

一龍齋貞山

界各國の凡ゆる民衆の心に深、国を間はず、人種を間はず、人種を間はず、人種を間はず、世

く喰ひ込んでる

ヘンガリア

改作して音樂をつけたのがベベルリオーズ作曲

▲▼……混合榮養の場合注意 しなければならぬことは、哺乳瓶の乳首の穴をなるべく小さくして置くことです。乳首の穴が大きいと母乳よりも易々と吸へますので、吸ふのに骨の折れる母乳を嫌つて遂に

分を與へよ!

でうとするものでうとするもの

を、解析、こかにと本、別 を、本ののでは、 を、なったのでは、 を、なったのでは、 ををあるいでは、 を、なったのでは、 を、なったのででは、 を、なったのでは、 を、なったのででは、 を、なったのででは、 を、なったのでで、 を、なったのでで、 を、なったのでで、 を、なったので、 を、なったので、 を、なったのでで、 を、なったのでで、 を、なったのでで、 を、なったので が被害に罹りなが被害に罹りなが

乳支けでは水分が不足

▲▼……赤ちやんの競育する でも差支ありません。また長乳の時間でないのに目覺めてでも差支ありません。また長乳の時間でないのに目覺めて 度々與へる必要があります。 へて下さい。殊に暑中等は尚 ででいる。 よりずつと多いものです。 で甘くして哺乳瓶で與へる りも少 ツレ薄目に入れ體溫位・番茶を大人の飲むの る水分を補 遊記を執筆して支那の事情にき早速旅裝をとよのへ日本に 助けか 支那 人軍夫の 募集のいで困つて居たところが天のんだが城内に入る事が出来た 軍よりを 通じてるる事を披瀝し軍事 始大治には之を御覧遊ばさ 天津に於て日清談判破裂の か支那人軍夫の募集 り重大使命を命ぜられた以て葬謁を賜つた後の ぐらんと山東省一機に戻り久々にて荒屋に戻り久々にて荒屋に戻り久々にて荒屋 晴れ支那通となったの地勢をしらべてア

1開戦と云ふ事を

を過るラコッチー一族の行進序幕、鴫のハンガリアの高原

三友計

ストの勃罰」である。

崎、藤崎の三人にて高

敵地錦州に乗り

来て一擧刷得です。 東へることにもなり、哺乳の 時間も規則的にすることが出 が出 が出

少年女年獨唱大會

三人は今は致し方なく最後

作器 アルメリヤ管ベ樂園 ハニ五 連續講演 (東京)現下の支那(三) 現下の支那(三) を業の設達と事變の影響を素の設達と事變の影響を素の設達と事變の影響を表して、 告知事項番組強告 (新京) 日本放送交響樂團 指揮 大塚 海 アー・エンメリ

ふの

番組

三 新M

日〈命曜日)

四、四〇〇〇

四、三〇縣青

東京、新京)

11.00

(大建、新京) (東京)

トに最親を選げます大日本帝 関連議員と悲痛にも得容と死 についた。その意氣や肚烈義 烈なる等魄は鬼神を泣かしむ なものがある。遠に三つの雄 建は天に貸したが、彼等の志 は空ではなかつた。後の我軍 士の驚れた功績が燦然と輝い てるたのである。

1作曲 ヴァタナー作曲 リケー・アンダンテ、カンター・アンダンテ、カンター・アンダンティー・アンダンティー・アンダンティー・アンダンティー・アンダント

繪本太功記 竹本小仙さんの彈語り(尼ケ崎の段)

太

石上げられたので反逆 征伐に闘つて来た。光秀の母 単月は光秀の反連を悲しみ廻 関修業に出た。光秀も悔いた が四方田に勸められ伴粛大郎 と共に八吉と戦ふ事になつた この尼ケ崎の段は週國に出た 態と乞ひ家の様子を

は小田春永から勘氣をう

我したので久吉は高な



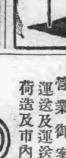














通關



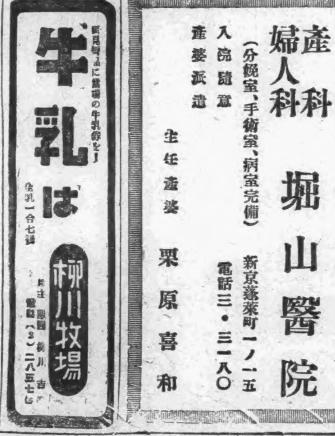




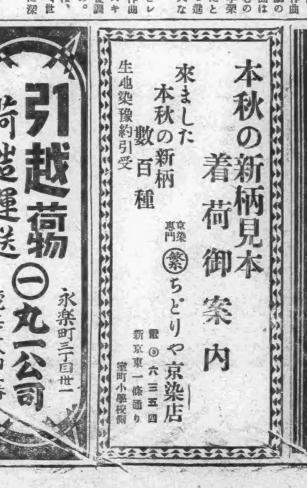


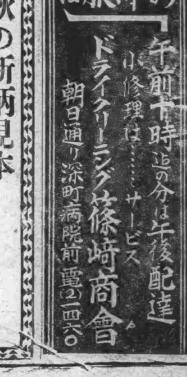


事 ②五〇一 * 或 引越荷物 人夫供於









吉原敏雄著

のこのごろ殊にしたしむらのこのごろ殊にしたしむら

本清流小皷 幸清流小皷 教授 中込所説町二 大一 カバン店

よわき光はきのふも今日

歌 集,

の木

4

神谷昌校に伴はれて) 被白き舞子の演の芝草にか

版 前の作家とこの作家とは誠に 所白いコソビである。前者に 熟ありとせば後者に光ありと 言はねばならぬ。この冷靜な 光も亦歌の具有すべき要素で ある。而も沈靜なるものこそ あつものである。

入會隨意 慶應看護婦會

電話。五六六九番が京梅ケ桜町ニノ十

看板

玉

心に通べる雲の様な

開かり言北の

い時は西空に限らず、 北が夕焼」とはあまり 北が夕焼」とはあまり 北が夕焼」とはあまり 北が夕焼」とはあまり れの野に難して了ふ。 れの野に難して了ふ。 れの野に難して了ふ。

ては、動員された作家たちの不名譽でもあるCT・T・Bンみたいなものだが一が讀んでみて一番面白かつたとあつみたいなものだが一が讀んでみて一番面白かつたとあつ

たない。

その断特に諒とせられ

永樂派遣婦會 電話佛通 電話佛通 電話佛通 會員大募集 食員大募集

適應し下痢胃腸病を強防

東庭衛生經濟品なり 東庭衛生經濟品なり

減 遠端町二丁目大番地

三四式

三五式 三四式

三〇式

話③五三六

を含ない。

召上りませ

に映らない。然らば「東の夕」に映らない。然らば「東の夕」は世でゐる點から見れば作者の心は常に北に向つて馳せているちらしい。即ち北を思ふ主のなが先走つて西の夕騰は心眼

石の二首共母性愛が現はれてなつかしい。母の一撃一動は直ぐ様、子の心に反映するこれほどおそろしいものはない。一首の中前の歌の方が優

△新京前工月報 (八月號) 一次、統計等充實し来つたこ 元、統計等充實し来つたこ 元、統計等充實し来つたこ とを示す(新京吉野町三丁

を待ちわびつゝあるでとの再會を築み其の機

推誌のために 機はむ

一般をまとめた。

たもの菊判三

あらうに、こちらは底先で勝事になる。そんな浮氣は無軌 道な芽上の郎女でもなし得ぬ

「日本評論」九月號は創作欄を航空小説で埋めてゐると「新青年」でも引越して來たやうな風景である。 と、北村小松のもの。何れ、公人の世界大職當時の實語物語である。 は、一篇は米國のものの讚譯、また一篇は大場彌平とか、公人の世界大職當時の實語》、また一篇は大場彌平とか、公人の世界大職當時の實語》、また一篇は大場彌平とか、公人の世界大場。

醫學博士市橋貞三

##談、但、樂 部 (十月號) 学の歌」 説切では長田幹彦が 党の歌」 説切では長田幹彦が近戦に小島政二郎の「傷字通州城」 真山青果の「鳴呼通州城」 自由青泉の「鳴呼通州城」 は九月東京明治座で上演されてある人氣妖定版

四四四五二番

新京銀座裏通り 番の物

友は今磯邊に身をば選ぶと 右の「友」は愛人か同性の友 かは知らぬが、若し愛人であ つたら大嶷な歌になる。即ち 受人は海邊にひたすら保養し

脚の火の衰への歌いる A 身のあはま

には一篇を喫し且つ行服する。 現代歌人の多くが徒らに節臭い叙景に茶人的風雅を事としてある時、かゝる情熟歌人と

まの人に接する心地がする。
としてリッカンのおよって としてリッカンのおよって としてリッカンのおよって ないの最近に楽人的風雅を事としい。 ないの作者の旺盛な作歌歌にない。作者は克明な描寫には一篇を喫し且つ特服する。 がらしき國都に相見えるは痛 しかりつゝ鋭き子ろの目にとけ言はれない。作者は克明な描寫に を終るが今回は何れも上出來 を終るが今回は何れも上出來 を終るが今回は何れも上出來 を終るが今回は何れも上出來 と言ふ女の心づかひが禁つて でしる。 ないのではなかつたかと思は ないのではなかつたかと思は ないのではなかつたかと思は ないのではなかつたかと思は ないのではなかつたかと思は ないのではなかつたかと思は ないのではなかって置くが、 して批評したのであつて決し して批評したのであつて決し と言ふ女の心づかひが禁つて して批評したのであつて決し と言ふ女の心づかひが禁つて して批評したのであつて決し と言ふ女の心づかひが禁つて して批評したのであつて決し

女流七家撰評

を独知すべく努力したけれどを独知すべく努力したけれどを現立かねる。いづれにしても歌の正道なるものとは言はれない。夏ミカンの皮にいかに錯綜した思念を注入したからとて眼前に見る對象は依然として夏ミカンの皮に過ぎなとして夏ミカンの皮に過ぎない。無駄な努力である。忌憚い。無駄な努力である。忌憚

之は危い と思つたまではなまの認定さ 入ッ手かとちかそんな葉の木であつた 機側に深すぎる影をおとし 女が冷やつこをサイの目に切つて お陰油を入れませう と がたかほり高いものを手ぎは良く振つて凉

にもして作者の感傷

屋根の上にたてかけ

一イド左に噴霧器

物好きさ

野寺宮

「柚子の木」は貫入社同人吉 原数雄氏の第一歌集、昭和六 東京の序に「著者の歌は狭し でもの新しい近代的なものではない。がしかし落ちついた はない。がしかし落ちついた たでし魚敷六吉

北京

者は天來の歌人の歌は感情の歌 身に近きす

本古のままの秋のひかりか 太古のままの秋のひかりか 者は天來の歌人であつて、順 者は天來の歌人であつて、順

べに参入できる人であらう。 從つて、對象の把握や心點的 な點に於いて腫々もの足りな さを感じ、セルロイド人形的 な手薄さは免れない。 湖は静かな夜となりにけり あやしきまでにしづかなり けり 畑はぬすべなかり付 をこのかめに居ておよぎあかざる 等の如き歌はまだ抄出すれば 等の如き歌はまだ抄出すれば 数らでもあるが、之等が立派 が作品として歌集の中に掲げ られてゐることに、私は一驚 を吃せざるを得なかつた。か 」る消傷的観照や氣分主義は われくに何の魅力をも感じ させないし、からした行き方 から定型短軟の新しき生成穀

大歩集へを持続を持ち、大歩集の経験を中、看護衛、女神改員、女神教員、女神と、大其他原言及求職者は至急申が、大きに、大は(女子専門)の大は(女子専門)の大は(女子専門)の大は(女子専門)の大は(女子専門)の 福の大七〇九番梅ヶ枝町一ノー四へ業紹介所へ







行

金融 九/二町船入 七末二大③電 店話電本荻

備完室脫分室病 往診入院隨時 院長 医学士 医学士 岩

ホ

292 内 児 科科 王堂 河野五百甲 電三、七一・大五三の番 松木寿雕 医院

品品 取 扱 各國羅紗洋服附屬品式 東亞ペイント諸建築材料 順石炭指定販 NAME OF THE PARTY 新京日本橋通二五 電話石炭部3二〇三二・五三八八

ないの する 電三切れたの www



洋結験

電馬三四四番

第 0

測石石山山量

及医分調測製品定拆查量

满洲 鑛業 社

土方龜次郎

皆 大安東

技術正確

責任出願

鑛業法二

ル正規製圖並出願手

京の 東列返金 7.慢性語流 存在型元

家傳名文义 · 放路二〇七

帳簿

專新門

三笠町ニノ九

あ

植樹園

庭造ご盆栽

京新祭

骨格が倒

來作

日七、新京商工智鑑所、五十銭) 本満州緒女(八月號) 本満州緒女(八月號) 市園國防婦女會) 市園國防婦女會) 市園國防婦女會) 市門前進座(第九號) 「人情紙風船」についての 特報(東京市武艇野町吉祥 寺二五四六、前進座事務所 三錢)

小点

3

ヤ菓子

話即時配達

十回十二(四)

三泰公司

佐る運搬

八叠二間二階南向 三一九 大和運 勉小包設設中央通り受送

新京吉野町一丁目 悬落物麻袋 额袋 お太

ボと

みどり茶園

記画日十七〇

新清

電話③、三人七

とんと あらい

さて 女房の云ふことがと目が醒めるとお露者のベッドまとんと あらぬ話にそりかへた (展は年甲斐もなくはにかんで

直ぐ學校なの

動間清治氏の傘下にあるが、殊に日本建誌協会としてあるのは、新聞一前法社の推議社の花形理誌は何れも、大馬力が、記まけには日本事變と大馬力が、記まけには日本事變と大馬力が、記まけに最も重要としてあるが、記まけに最も重要とした。 を表した。 を記述のはいふまでもないが、記まけには日本事變と大馬力が、記まけに最も電優といる世界でもあるが、発に日本建誌の在形理誌でもあるが、記まけに最も重要と大馬力がある。 を記述した。 を記述述述述を を記述述述を を記述述述を を記述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を述 多し御用は専門の

九州

堂療院

橋詰

六五〇九

ダンサー 宗経験者 二〇名漫 扇 芳 會 館 本會へ 本會へ

東三馬路無電臺下東三馬路無電臺下東三馬路無電臺下

イピスト集暴

音沼タイプ綜合教授 日本タイプ綜合教授 所京所發路(暗部ギネマ前) 直翼所 前屬日繭タイピスト學院 開局日繭タイピスト學院

宋松接骨院 中央通り

特に智様の立喰

電圖六一三六番

奉仕堂藥房

三笠町一丁目二四 他家傳良薬あり 胃癌、胃潰瘍 助膜、腹膜、

朝夕-京氣の折 戦ター京氣の折 水上御立寄下さい スキャキ









35元九〇人語

ーに替古 ま引成品 す受はを 商店金庫部 い高鋼

・ 信用ニー・麦モー・ 修理 △迅速·確實!! 世品 元 板店 會社 協 • 康價!!

(電氣百般) ル 型在發庫

理工場西七馬路一七 第二十六七六〇 進豊

最初がかさいが、治臓してるるとアソー ない き音 いっぱい も漁師は大急ぎで棒を漕いで取ります。ウツカリして異な 空の一次へ 健かに承は多風雨になります。ウツカリして異な 空の 一次へ 健かに承はかりの怪しい雲が現れたら極端も無い

病

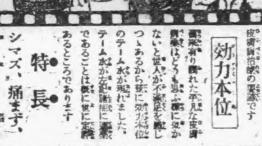


能効治主 がい。とおきひ 地でででせ 地でできなん

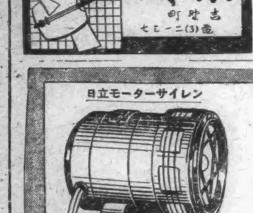
日立電氣ドリル (元東亜電気ドリル)



〇六五

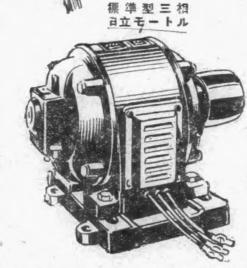


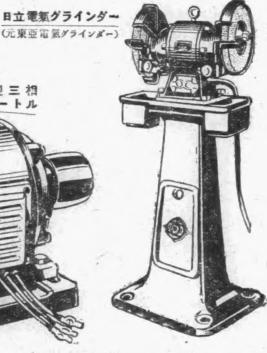


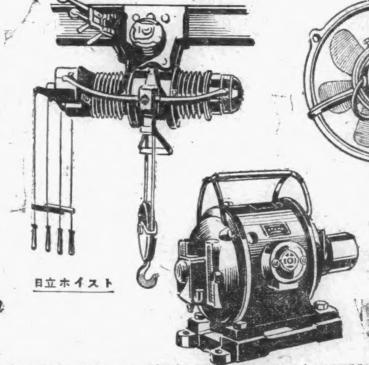




日立電気ポンプ

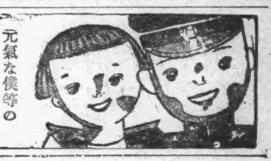




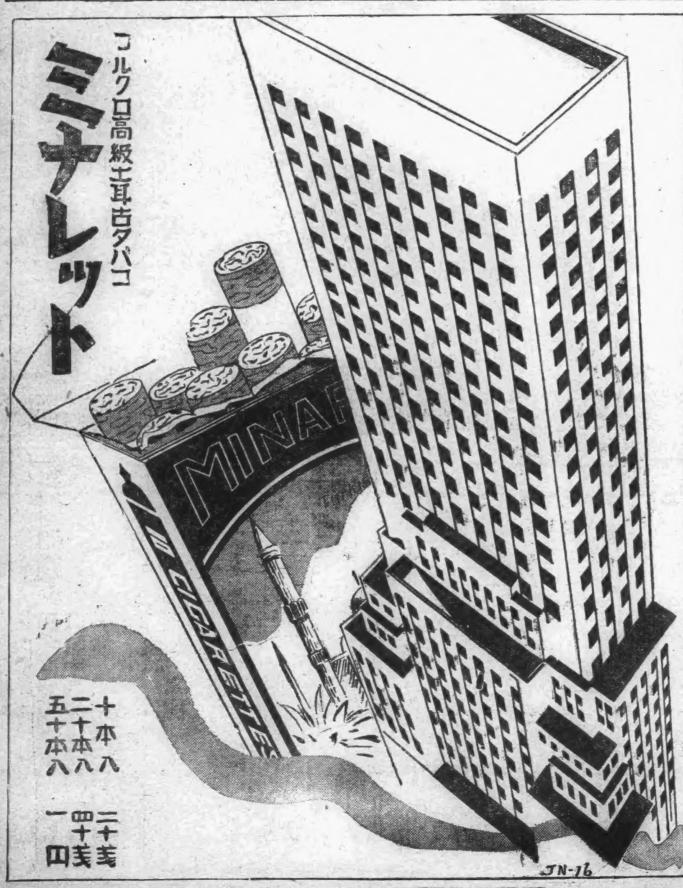








育見の實績



將書類作成日滿鮮通譯 滿洲國商標登錄日滿民刑事訴託顧問及鑑定貸家貨地管理 辯護士黑田實法律事務所

*京 電腦朝 話通日 日通三十三番地

前 辯護士脈大等

入工築養品の最高理想品

母乳に恵まれない赤ん坊程世に不幸なものは御座ゐません親御様もそれが爲めにドンナに苦勞なさるでせう――牛乳ではドンナに苦勞なさるでせう――牛乳ではアンナに苦勞なさるのはラクトーゲンで見の目的を達するものはラクトーゲンで見の目的を達するものはラクトーゲンで見の目的を達するものはラクトーゲンで見の目的を達するものはラクトーゲンで見の目的を達するものは現に今日まで無数の別を育て上げました、又或る赤ん坊は母見を育て上げました、又或る赤ん坊は母見を育て上げました、又或る赤ん坊は母見を育て上げました、又或る赤ん坊は母見を育て上げました。 贈呈致シマスニ神銭リ下サイ記載ノ品ニ神銭リ下サイ記載ノ品



ゲン見本 呈 参つたと言ふまで

同暑では無籍者として

官者属人虎門外、

南京政府を叩

有田元外相等きのふ來京談

防皇軍慰恤

献金品

坂本 接近

月整二年十一

(日)

曜

日三十覧で入資麻難パピナル 一に侵入して衣類五階を物取即 に侵入して衣類五階を物取即 に侵入して衣類五階を物取即 に侵入して衣類五階を物取即 に侵入して衣類五階を物取即 に受入して衣類五階を物取即 に受入して衣類五階を物取即 に受入して衣類五階を物取即 に受入して衣類五階を物取即 に受入して衣類五階を物取即 にしたが、犯人は黒川氏 本コト(二六)の仕葉と判明 にしたが、犯人は黒川氏 本コト(二六)の仕葉と判明 にしたが、犯人は黒川氏 本コト(二六)の仕葉と判明 にしたが、犯人は黒川氏 をころ黒川氏の不在中を奇貨 に受入して衣類五階を物取即 同

と見られ目下嚴重取調べ中で歴から他に除罪多数あるもの

過ぎない、次に新京のは人絹織物、石油

過ぎない、次に新可

方は大連

所は滿蝎支祉二階

十五圓也で 戀女房

加

総えず暴句の果て李の暴行虐 一条のため居たゝまらず張は夫 の不在を奇貨に本年六月來京 三笠町四丁目慶樂堂に前借 五十圓で再び妓女として住 五十圓で再び妓女として住 記記慶樂堂で俳優篠業中 は前記慶樂堂で俳優篠業中 は前記の大きまり、 一条通り食堂自由軒ボー

都市にと 高くなつて

新京青年學校

鄉軍委託教

金)

去る一日午後六時三十分頃大 相通七十七番地丸紀洋行二階 居室の金庫より五十圓を物取 した搭離事件があり、新京署

金庫泥棒捕る

(七)

構支視察の途にある元外相有 田八郎氏は外務省事務官古内 居様氏、明大教授中川富綱氏 らか得同一日入港の古林丸で 大連上陸、极岡満粒線数と懇 代の後二日午後六時三十分へ 十分延着)のあじあで澤田大

格で満洲圏の関境線北支方 は大使館へ行つて見ないと が表したいと思って までに勝京したいと思って までにおいる。

果計九千四十八圓八十二錢(駐滿飯軍部へ)

假紙一箱、四十圓

明二十六銭、十五間五十銭、日一包金大圓九十銭

数 五三七大 一二時五一 一度 五二二 度

大大公分分分分

~七百三十八<u>圖八十二</u>6

上尉に昇進

慰問袋五個

した、尙餘雕取鯛べ中であ

潤麒兩

皇軍慰問に献金しやうと調まで とまり、二日午後錦ヶ丘高等では直ちに関東軍司令部へ轉送の の手續きをとつた

であつたが、二日同店員寺島東取開への結果、寺島は店主佐々木氏不在中洋服のポケットから健をとり出し金庫在中トから健をとり出し金庫在中

生年

、廣告物又はこれい附屬す事項

【上海二日愛國通】蔣介石夫 ・ 倉の軍職に豪奮して女ながら ・ も男の軍事専門家を呆然たら ・ しめてゐる、宋夫人は軍事中 にめてゐる、宋夫人は軍事中

、ち取外したなど、瞬して武器 等間を対してある有様であ 等間を対してある有様であ で額したりしてある有様であ であっては一かどの

軍事に干異するものは務夫人 あた程である、日支事變勃發 つて国民の顰蹙を買ひ、支那 つて国民の顰蹙を買ひ、支那 ので関系の変形を無取るに至

件の形狀、材料及び寸告物又はこれに附屬す

かねて日本へ留恩中であった皇帝御弟薄健中尉は 御弟溥は中尉は 御弟溥は中尉は であつたが、来 る十日兩中尉は 日出度く を一日兩中尉は 日出度く を一日兩中尉は であったが、来 る十日兩中尉は 日出度く

岩間甲斐之助氏氏より寄託二年後西暦場小學校から市内北二條通り岩間甲斐之助氏

日午後二時頃西公園裏門口

無籍者。

0

女給

を盗んで捕る

を注射した旨自白した

會秘書長とし南京政府最高機 所介石と同席し黄色い氣焰を あげてゐるほか自ら飛出して は南京附近の防備陣地や日本 空電爆撃の跡を観察したり、 その事務室には日本飛行機か

をして「支那を破壊するものはじめ政府要人を頭から押へないながなはすつかりのぼせとつけて蔣介石救出に成功しては、以來の彼女はすつかりのぼせと、以來の後女はすつかりのぼせどの政府要人を頭から押へといる。

をもつて嚆矢とす」と揶揄するほどで、支那國民は今や「女賢うして中質りそこなら」の諺が實現するだらうと非常な危懼をもつて宋美齢の行動を住職してゐる(宮貢は宋美齢)

荒して捕る 四公園賣店を

等で其他安率風俗を紊すもの物設けかられてゐる

取締規定

女だてらに宋美齢が

軍參謀氣どり

黄い氣焰に政府要人も顰蹙

新

たが席上、菓子科を節約して八月二十一日同窓會を開催したが席上、菓子科を節約して

商業卒 **分年も引張り凧** 今からもう推薦の依賴殺到 學校當局大よろこび は 人氣も

と、大學部に學ぶ中等學校の上級に學窓に學ぶ中等學校の上級に學窓に學ぶ中等學校の上級學校入學準備の第二字用開始と、もに第五學を九十四名を就職希望生と上級學校入學希望生の二種に學級與國數をし、入學希望生と上入名を受驗組として專ら受験和での學習を行び、就職希望生と上入名を受験組として專ら受験和での學習を行び、就職希望生と上入名を受験組として專ら受験和での學習を行び、就職希望生

五十六名には就職斡旋を

來年三月卒業生の

安寧風俗を紊す

廣告取

同窓會費用を節約

皇軍慰問献金

首都警察廳では從來灌立狀態 生遺憾の點多かつた各種服告 物の爵重取締りをなすべく廣 物の爵重取締りをなすべく廣 も物取締施行細則の制定を したので年内に公布實施する ことゝなつた、同取締規則に よると今後廣告物を掲示しよ うとする者は一様に左の事項 を具して所轄警察署長の許可

二笠校同窓生の美擧

要 推應依賴狀が同校に屆付られ 要 が 既に電業には七月十五日、滿 野 既に電業には七月十五日、滿 定で來る二十日までに推應の役 定である、昨年の推薦依顧の 正式通知は九月初旬に初めて あつたのに本年は昨年より三 ケ月も早く、夏休み前に四會 社から正式申込をうけた學校 た では來年卒業生の就職斡旋の

現代子子 (本語の中で経別な と降りしきる雨の中で経別な また (本語のを) と降りしきる雨の中で経別な と降りしきる雨の中で経別な と下級サラリーマン風の男が に南京錠を開け、忍に賊は力霊 できて捕へられ西公園派出所に が、のを幸にあたご賈店 (経営者 ただ (本語の) は同時の (本語の) おいて (本語の) まずで (本語の) まずい (本語の) (

準備着々進 to

全滿卸賣物價

慶祝大會

二日三人を呼べ出し松林保安 かり七月下旬七十五圓で身受けされ李賢忠と同棲中と 判つた

格境内に逃げ込み、前記二名 と知らせたので、直ちに追跡 したが、件の男は包を投げ業 て靴を脱いで裸足のまゝ忠霊

来る十六、七扇日國都新京に 建設塵配大會は實行委員の手 を満々準備を進められてぬる が、同市民部では二日午前十 たが、なほ三日午後三時より に同宣傳部が國務院會議室にないて は同宣傳部が國務院會議室で 全國的大宣傳陣强化のため委

により戀の裁さが聞かれ によつて女の取引を清算した といされ李賢忠と同棲中と よこせと争つたが、結局八十 たた よこせと争つたが、結局八十 たた というない と続仲と よこせと争つたが、結局八十 た の では という は は いっと が いっと は は いっと は いっと は いっと は いっと は は いっと は は いっと は に いっと は いっと は は いっと は いっと は は いっと は に いっと は は に いっと は に いっと は いっと は に いっと に いっと は に いっと は に いっと に いっと に は に いっと に いっと に は に いっと に に に いっと に に いっと に に いっと に に い に に いっと に に い に に いっと に に い に

前月より卅

一種目騰貴

11四、年

時間でも一時間でも早引きを 練時間は本人の都合文第で半 ではないと、なほ教

彩預柳花· 段一科外 器應該度限入· 科與四瓦

DIR A

第の結果左記諸氏當選仕候 第の結果左記諸氏當選仕候 第の結果左記諸氏當選仕候 第の結果左記諸氏當選仕候

通

と 4多々ペチャンをと女に未練 を残しスゴく と吉林に去つ た

返返

金品

自由

世

帶道具

0

m

器店

■ション軍へ予 配数

日には暴利取締令の公布を見ること」なった、康徳三年十一月を基準とすれば全浦織物價指數は一二〇・五で二〇・五で陽貴し、さらに前月を基準として見るときは一〇二・地として見るときは一〇二・ 商務司、関東局文書課 香によれば本年七月中 全によれば本年七月中 暴闘を演じ磁に八月二 暴闘を演じ磁に八月二 暴闘を演じ磁に八月二 暴闘とすれば全痛認物 は一二〇・五で二〇・

S

奉天競馬搖彩票

當籤番號

何同酷抽撰外の

等

富士町ニノニス 方には粗品進呈致す

特別市清和胡同七〇三

北京小

ili

鴨

智子 殿里 治 殿

九軍

許可す

勝落率を見るに騰貴せるもの 物價を前月に比較し品目別に 地質を前月に比較し品目別に 運命鑑定 悩みの生活より幸福への近

高島胤卿

二等 二条

四十四國) 八十四圓)

郭四 服 科

取被下度候 個常選者は九月三日より九月十

木

7

遊覽特別割引列

車

0

號決定さ

三等

九月二日行はれ左の通り常織三回壽 (大) 搖彩票の抽籤は

左の通り常籤

収締規則年內實施

九)は昭和十年四月頃吉林市習薦所に勤務する李魁山(三

下落した。 内・九、地 瓦學軍要 少である、保合の状況、棉花四%以外は下落四、牛肉四・七、生鶏四、牛肉種・毛、生鶏 品目の軒並み騰貴を1%等の膨貴が特に目

和人相、手相、骨相金式四也也 大月一日より 十日まで 一日より 十日まで 一日より 一日まで 一句を表記した。 一句を表記し

院醫町深

釣の

〇二十三百九十二回 一二十三百九十二回 一二十三十二十二四四九、一四四九、二四四九、二四〇二二 一四四九、四〇二二 一四四九、四〇二二 一四四九、二十二回 三二九七五、一〇八九 二二十九四〇二二

三等はハイラルに落ちた

意隨院入

詳細は最寄の輝長にお明合せ下さい

局

リ通日朝·京新

夢加箇所決定

政府職員養成機關では四日午前八時三十分より南嶺関立綜合運動場に於て聯合體育大會加機關は左の通りである大同學院、中央警察學校、財務職員養成所、司法部法財務職員養成所、司法部法財務職員養成所、司法部法財務職員養成機關では四日午 在中無休

警城線營業開始

田中警務部長

A PARTY OF THE PAR 大きなの中野枝の中野枝

指すること」なり、とり敢ず 施すること」なり、とり敢ず 施すること」なり、とり敢ず を発音三十餘名を始め他の 二月行はれる筈であつた新京 神社秋季大祭に就ての氏子役 神社秋季大祭に就ての氏子役 内地に置いた夫人を伴れに踏 るさうたが、海山河百里の別 を注話にあるとは言へその愛 と言ふ程のせずれも飛行便に託 でなければおちく出来ない と言ふ程のセッカチ振りであ る▼「彼氏、ワイフからの手 様な顔でふさいであるのだか られ」と傍の小松枝士がまた **下野技士をいぢめてる** 一般の小松技士がまた 一般の小松技士がまた でふさいでゐるのだか

合から未教

前月六月に對比せる指数は左別指数を康德三年十一月及び

・九) 替口(一〇三・四)の (一〇六・三) 安東 (一〇 ・九) 替口(一〇三・四)の

大連へ向つた
大連へ向つた Ħ 大興公司 庶務課

役員會延期

金 金銀賣買は専門店の 共立金

央通 輸入 百貨店

右希望の方は肖接御來談を乞ふ ・、橋浩 鑑筋コンタリート造 ・、 瀬所 新京東五條通ニ永衡通院内(取引所南側) 貸倉庫

0) ◇三升炊きと



名代の支那料理 大阪同伴で御立帝順ます。 ・ で召上られる根新らしき事 ・ で 一丁 目 裏 ・ で 一丁 目 裏 が感九月一日から錦倉室獨 座敷を作り

五五二九一六番

(カタログ)

富久福カマド

渡 邊 西 行 新京大經路日之出在宣元 1800 504

中との啓左衛門、 恋たりといく!

等の気をかいてみたのだが、どう

格とそ長七郎に独告して彼

お飯もそのつも

「種なり、不配合な似。 こんな似

一、いや思づたの怒らないのちゃ

来を動語ったものだから、彦左衛の

って。

かられて出さねやらにして買ひた

い、とちらの仕事の邪難になるか

として写点歌兵衛がやって來ま

のでした。

軍平が出立する時に、お銀に向

嗘

物は手を眺いて大笑ひ、イ

民刑

般法律事務

辨縣理護

曾

● 「題き建つてゐたかと思ふと、 平陽新九郎の腰のあたりをクソ

低て

製

賣

店

京曙

0 目

四番 = の名はへ近づいて行った。そして

胸もなく、おめく、と生恥を難し で、舌を噛み切って死ぬほどの皮 で、舌を噛み切って死ぬほどの皮

への無念ばらしだ」

といふので、物々相談を始めま

病、痔疾科

小兒科

永樂屋の方は残念ながら一時仕返

「もう意識々々しちゃほられない

あなし、おめし

そとへ、山田の野良犬が、見動

どんな相談をしたか、そいつは

(及院 隨 意)

電點三一三七五六番

(II+II)

養務の賊 CD

(禁造) 中川

査

心郎;

風が高しなって、プロし *三人様られて居るぜ』 のある時分まで、打張らかしてお いかわかりません。たうとう間 ました。さあ大概です。 蔵左飾門着人。どこまで栽培が ていきり立つ彦左衛門を宿め、 連中で、マア

理

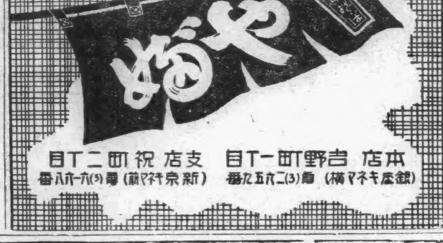
ところが、運かれ速かれ、膜太 の家柄を標に振って、流浪の旅に れから三人の順目を解いてやつ と寄ってたかつ

新は、たちまち見物人の黒山を窓、屋敷から披たれると。」 をとりんして、窓左衛門方の門 て敗心をいたしません。 「いや、鳥原一族の落武者が、江 ひる三人のことだから、折角の電気をが、江 ひる三人のことだから、折角の電気をが、江 ひる三人のことだから、折角の電 て敗心をいたしません。大久保の い目に遭ひながら、更に身に浸み

『大方それは、 質性家の疫気かも

土地建物賣買及仲介土地購入建築資金融資 國都建設區域內補償法融 火災保險代 土地建物の評價、鑑定、設計 **租張所 奉 天 絨 內 東 華 門 外**分公司 哈爾濱道外北三道街路東入號 地建物受託管 大德不動產機公司 京北大衛 管理係のリンー入入一・一六四二 理店業務





(朝日座西隣) 電②五三二四年京西七馬路 第一朝日ピル

